

ニュース NEWS な PHOTO

農業体験の場を提供し、新たな農業者を育成

4/7
木

とうごう農学校 入校式

とうごう農学校は、町民の皆様には農業の学習や体験の機会を提供して多様な農業者を育成し、本町の農業を活性化するため、平成21年度から開校し、これまでに14人の卒業生が、新たに農業を開始しています。

今年度は、30代～70代の15人が入校し、講義と実習を通して食文化や暮らしに関わりの深い農業を基礎から学びます。

入校者の長屋一郎さんは「健康のために、土と関わる時間を作りたいと思って入校した。自分自身で野菜を育てられる知識と技術を習得したい」と意気込みを話していました。



4/22
金

親子で「うごいてあそぼ」

元気いっぱい！

中部児童館で、幼児期に体を動かすことの大切さを伝えるため、動物をまねする運動やボール遊びなどを実施しました。

当日は、ポカポカ陽気の運動日和。参加した子どもたちは、小さな手足を一生懸命動かしながら、可愛い笑顔を見せてくれました。

また、職員はママたちに「児童館が、子育ての悩みなどを分かち合えるような場になれば」と、育児の大変さを和らげるよう児童館を活用してほしいと話していました。



力を合わせてキャッチ！ロー！

4/23
土

愛知池でボート体験会

太陽が差し込み心地よい気候の中、町内在住の小学生を始めとした10人が愛知池でボート体験会に参加しました。

参加者のほとんどが、今までボートに触れたことがなく、初めてのボートに恐る恐る乗り込んでいましたが、講師の熱心な指導もあり、すぐに慣れた様子で「キャッチ！ロー！」の掛け声とともに力強くオールを動かしていました。

参加した人たちは笑顔で「風を切る感覚が気持ちよかった」「またボートに乗ってみたい」と話してくれました。

